

日本基督教団 八ヶ岳教会 主日礼拝 NO.1195 2021年10月24日

牧師 山本護 奏楽 花曲琴音 第一部礼拝 司式 青柳明美 9:30~10:30
 ※讃美歌は二番までうたいます 第二部礼拝 司式 清水由可 11:00~12:00

前奏	黙想	祈禱	
讃美歌	25 よをもるつきに	讃美歌	294 みめぐみゆたけき
祈禱		献金	
信仰告白	使徒信条 566	讃詠	547 いまささぐるそなえものを
聖書	イザヤ書 66:13~14 ヨハネの手紙一 4:16	黙禱	
讃美歌	66 聖なる、聖なる、聖なるかな	主の祈り	564
説教	『LGBTQのキリスト』	頌栄	540 みめぐみあふるる
		祝禱	後奏

イエスは神を「アッパ、父ちゃん(マルコ 14:36)」と呼んだ。旧約時代から神を「父」と言い換える事はあったが(詩編 89:27)、それにしてもなぜ神は、「父」であって「母」ではないのか。男尊女卑と言わずとも、ただ男が、神に自己を投影しているからではないのか。素朴な宗教では、産み育てる豊饒な女カミサマが多い。日本神話では稲作のアマテラスが主神。遡った縄文でも土偶を見ると女カミサマと思われる。自己を投影するにしても、自然環境が寓意になるとしても、神は男か女、もしくは両性具有。「LGBTQ」が認知され始めた現代、神にもいっそう多様なイメージが投影されるのだろうか。

そうだろうな、と思う。鮓を食わせてくれた人が「小僧の神様(志賀直哉)」になり、イエスを日雇い労働者や被差別者の内に見るごとくに、神をLGBTQのいずれに投影してもいいんじゃないか。このように、神のイメージをのびのび膨らませると、もう父ちゃんか母ちゃんだけでは間に合わない。

「母がその子を慰めるように、わたしはあなたたちを慰める(イザヤ 66:13)」。興味深い。神のイメージはもう完全に母ちゃんだ。父性が支配的な旧約聖書だからといって、神が峻厳な「お父うえ」と思い込まないでほしい。イエスに「アッパ、父ちゃん」と呼ばれる神だって、内緒で駄菓子を買ってくれるような庶民のオヤジだろう。預言者は「母なる神」の言葉を語った。母なる神に慰められ(66:13)、その愛に満たされて、私たちの「骨は青草のように育つ。主の御手は僕たちと共にある(66:14)」。

「神は愛。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださる(ヨハネ 4:16)」。私たちは、愛そのものである神の内にとどまる。同時に、神が私たちの内にとどまられる。どちらか一方的な愛ではなく、相互に響き合っている。この響き合いには順序がある。「わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じている(4:16)」。すなわち「わたしたちが神を愛したのではなく、神が私たちが愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになった。ここに愛がある(4:10)」。まず私たちが愛され、十字架の御子によって愛を注がれ、その愛で、愛する者となった(4:7)。

初期の教会では三位一体を「父なる神、母なる聖霊、子なるキリスト」とイメージする傾向があり、イエス語録が集められた外典『トマス福音書』では、イエスが「わたしの母は聖霊(トマス 101)」と語っている。そうした配置が、しっくりいく納まりなのかもしれないが、「人が神の内にとどまり、神もその人の内にとどまる(ヨハネ 4:16)」ことは、神の愛と、人と愛との相互の響き合いだ。加えてそれは、人と人との響き合いでもある。「いまだかつて神を見た者はいない。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内にとどまられている(4:12)」。

愛は、神の力強い父性に傾くものではなく、聖霊の優しい母性に支配されるものでもない。十字架で注がれた愛によって、私たちは自分の姿で、自由に、のびのびと、存分に響き合う。LGBTQのキリスト。無制限なキリストの愛は、聖と罪、生と死を超え、創造された絶妙な性差を尊んで、私たちがその姿のまま、丸ごと愛して下さる。そのように私たちは相互に愛し合い、神の内にとどまる(4:16)。

憎悪には憎悪がかきたてられ 愛が与えられれば愛で応えることができる 脳内には「ミラーニューロン」なるものがあって 出会ったキリストに私は似せられ そのキリストに私が投影される

10/16 田村眞兄が召され、10/19 牧師が湘南へ行って祈り火葬しました。次主日 10/31 の礼拝後 1:00 から当教会の礼拝堂で田村兄の「お別れ式」をおこないます。都合つく方はどうかご出席ください。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。